

コラム



## 持続可能な自治会活動に向けて、課題解決のヒント

誰もが主体的に参画したいと思える自治会を目指して、毎年このコラムで「女性のみなさんも自治会長を」と呼びかけてきました。自治会長の女性比率は令和7年4月1日現在で14.7%と、昨年より若干増加し、人数も昨年から1人増えて28人となりました。（下図参照）。しかし、市内の自治会は190ありますから、依然として女性会長は少ない状況です。さらに会長に就く女性が増えるよう、引き続き、みなさまのご支援とご協力が必要です。

一方、我孫子市に限らず全国の自治会で、加入率低下や担い手不足といった悩みを抱えています。人々の生き方や暮らし方が多様化し、自治会活動もまた、それに合わせて変化が求められています。共働き世帯や単身世帯、子育て世帯などの多様なニーズに応える活動や、学生など若い世代を含めて様々な方が担い手となれる体制づくりも始まっています。「自治会長も人口と同じく、男女半々が当たり前」となることが、持続可能な自治会活動に向けて、課題解決の第一歩になるのではないのでしょうか。

また、最近では地域防災の大切さに加え、この分野における女性の視点が不足しがちであることについて国も着目し、全国的な課題として取り組んでいるところです。多くの市内自治会に設置されている自主防災組織の代表者についても、積極的な女性登用をお願いいたします。

〈担当：市民協働推進課 男女共同参画室〉

我孫子市内の自治会長女性比率と女性自治会長数の推移  
(各年4月1日現在)

